

2020年5月13日

高知県知事 瀨田省司 様

米軍機の低空飛行中止を求める要請

日本共産党高知県委員会  
委員長 春名直章

日本共産党高知県議会議員  
団長 塚地



貴職におかれましては、危機管理行政の推進にあたり、ご尽力されていることに敬意を表します。

この間、県下での米軍機と思われる低空飛行の目撃情報が相次いでいます。これまでも、香南市や大豊町、本山町などの上空を通過し、岩国基地に至る訓練空域・通称「オレンジルート」での低空飛行訓練が、過去に墜落事故を起こすなど県民の安全を脅かす重大な脅威となってきましたが、特に今年に入ってから目撃情報（93回、5月5日まで）は、この「オレンジルート」下のみならず、高知市など住宅密集地を含む県下全域に及んでおり、かつてない危険な状況となっています。

目撃した方によれば「墜落したかと思った」と言うほどの爆音、また「超低空」の飛行が繰り返されています。外務省は、「在日米軍は、国際民間航空機関（ICAO）や日本の航空法により規定される最低高度基準を用いており、低空飛行訓練を実施する際、同一の米軍飛行高度規制を適用している」としていますが、この最低高度の基準からも逸脱した危険な低空飛行であることが、目撃情報から強く示唆されます。

相次ぐ米軍機の低空飛行は、県民の安全にとって看過できない事態であり、これまでの県・県議会としての中止要請を無視して急増していることは、断じて容認できるものではありません。よって、以下の事項を要望し、実現を求めるものです。

- 1、高知県として、住民からの目撃情報(写真・映像等含む)を積極的に収集・集計し、県庁サイト上で公開するなど、米軍機による低空飛行が常態化している実態を可視化することで、県民の安全を脅かす危険な米軍機の低空飛行中止に向け世論喚起のイニシアティブを発揮すること。
- 2、国に対し、①米軍の低空飛行訓練の実態把握と、②高知県民の安全を脅かす低空飛行訓練の中止を米軍に求めるよう要請すること。

以上